

## 2025 年度県予算に対する要望

横浜南共済病院

1. 2023 年度に新型コロナウイルスの感染症分類が 5 類へと変更されたため、2024 年度の看護実習は全課程通常通り 1 日実習となった。看護学生が 1 日実習を実施する場合、食事や休憩をする場所を確保するため、職員用食堂を学生も使用することになり、より広いスペースの確保が必要となるなど院内での工夫をしなくてはならない。感染症分類が 5 類となったが、食事環境は継続して黙食であり隣との間隔を十分に保たなくてはならず、その為の財政支援を昨年より引き続き要望したい。
2. 教員が実習施設や病棟の掛け持ち、会議や講義のため病棟不在となる現状がある。看護業務と実習指導を並行して行っている看護師にとって、教員不在時の負担は大きなものとなっている。学生指導は看護職員の時間外労働の一端となっており、労務管理上も課題と考えている。教員の増員等、教員不在の解消を要望する。
3. 助産師課程の実習を受け入れるにあたり、教員不在での夜間や休日の学生指導、助産師課程と看護師課程の同時期での実習受け入れなど、産婦人科病棟や産婦人科外来の負担は大きい。助産師課程の実習を受け入れに対する施設への補助、教員数の増員を要望する。
4. 看護実習を病棟で実施する際に、学生が使用する医療器具がいくつかある。当院では実習病棟に手動式血圧計やピッチャー、酸素飽和度測定モニター、教育指導用聴診器(W ステート)の定数を設け管理している。しかし経年劣化や破損などにより、毎年修理や購入を余儀なくされることがある。10 年以上経過している器具もあり、看護実習で学生が使用する医療器具更新の財政支援を要望したい。
5. 実習指導者は実習指導者講習会(約 2 ヶ月間の研修)を受講したものが望ましいとされており、当院でも毎年、公務離脱の扱いで複数人の看護師が研修に参加している。また、当院では 2024 年度から実習コーディネーター(実習指導者)会議を年 4 回開催し、実習環境の改善や充実した看護実習を目指し日々研鑽している。そのためにも個々の実習指導のスキルの向上は不可欠であり、これからも多くの看護師の研修参加を目指している。その為、今後も指導者講習会を受講するための補助の継続を要望する。

差出人:

竹村 華織 <k\_takemura@jin-ai.or.jp>

送信日時:

2024年6月4日火曜日 17:46

3) 要望書についてのコメント

- ・地域看護師に関わる新規提案ありがとうございます。
- ・P3 以下 県要望 実習に関わる支援 についてコメントします。  
総論賛成ですが。

1) 衛生材料の提供→費用高騰への支援

コロナ5類となり、マスク等の費用支援でのロジックでは採択が難しいだろう  
資材費、光熱費 2割増加になっている現状があるため、コスト増加への対応でロジックを通してはどうか。  
学生がいるだけで、光熱費増えるのよね笑  
→座間総の費用データ出せるのかなあ、、、。光熱費の東京電力、東京ガス費用の値上がりをデータベースにするか？

2) 実習施設協力金格差の是正への補助に加えて、指導者の専従化配置支援金はどうか？

新カリキュラムで、より早期に実習に入るため、思考力、実践力に格段の指導を必要とする学生が相当数増えてきた印象がある。  
そのため、学生指導へ臨床指導者としてほぼ専従化し配置している病院が増えている。  
そのため、現場はマイナスで働いている状況に近い  
謝金格差の補填のほか、専従化している病院への支援として「専従化配置支援金？」的なものもありか？  
量的拡充策である看護実習受け入れ“拡充”事業費補助もステージを切り替え、「質」の担保をしている病院へ手当をすることに移行すべきと考える。  
→今度適正化部会で専従化配置の現状アンケートとってみて、データも添えて25年度要望に乗せていくのでもよいのかもしれない。

3) 小児、母性、精神、助産への別途支援 ←加えて訪問看護ステーションも対象にしてはどうか

新カリになり、在宅領域への実習単位が増えているため、訪問看護 ST への実習学生受け入れ負担が増加している。  
特に、小児、母性実習の診療科縮小が続き、より小児、母性、領域の実習集中が伺われる。  
もう少し、緊急性が分かるように、要望文に“危機感”を盛り込むことは可能か？  
→当該診療科での病床数（病棟数？）などのデータがあるといいのだが。

これまでいろいろ県と話してきて「数的データ」の必要性を痛感。

主観アンケートでもよいので、今年度の適正化部会で、現場の大変さを推しはかる数値指標を構えデータを用意するようにしていきたいなあ。

\*\*\*\*\*

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス

座間総合病院 看護部

副院長 看護部長 竹村 華織

E-mail : k\_takemura@jin-ai.or.jp

〒252-0011 神奈川県座間市相武台 1-50-1

Tel : 046-251-1311 (PHS5703)

fax : 046-251-1321

\*\*\*\*\*

神奈川県看護師等養成実習病院連絡協議会  
2024年6月25日 (火)

午後4時30分 2024年度実習指導者表彰選考委員会

出席

ご欠席

午後5時 第62回役員会

出席

ご欠席

「2025年度県予算に対する要望」について意見照会を行っております。  
両協議会としてのご提案などございましたら、ご記入をお願いいたします。

「地域に合った時代に向けた人材の育成」は喫緊の課題です。特に「がながわ地域看護師」は、看護師不足対策として存在の上、人材の育成にもつながります。一人の看護師の存在が、多くの看護師が集まる中核病院の看護師不足に、新機軸な影響を及ぼすことが期待されます。新規事業づくりが強く要望申し上げます。

お名前

小澤 幸子

実習病院連絡協議会 第62回役員会  
(2024年6月25日(火)午後5時)

お名前 神保京美

出席 (実地)

出席 (ZOOM)

欠席

※下記にメールアドレスをご記入ください

※メールアドレス

「2025年度県予算に対する要望」について、下記にご意見をお願いいたします。

地域看護師養成事業検討会に対する負担金の増額について

書面にもあるように、検討会の活動が活発化しており、今後ますます活動が広がっていくにもかわらぬ、提示額が前年と同額であること、大変遺憾に思います。未来への投資である、この事業に対する理解が十分ではないと感じます。前向きな検討をお願いしたい。